

## S1C17 マニュアル 正誤表

項目 クロックソースの設定																				
対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ																	
S1C17 シリーズ EEPROM エミュレーションライブラリ説明書	413686103	2.1 アプリケーションプログラム	4																	
	413120105	の適用方法	4																	
<p>(誤)</p> <p>“OscControl.c”の関数“OscClockSourceInitialize()”、“OscClockSourceFinalize()”を書き換えることによって設定の変更ができます。“OscClockSourceInitialize()”では書き込み時のCPUクロックとT16 ch.0 の設定を行っています。本関数を書き換える場合は以下の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デフォルトでは最適なクロック(4MHz)で動作するように設定されています。</li> <li>・ クロックを変更する場合は 4MHz 以下になるように分周比を設定してください。</li> <li>・ CPU クロックソースと T16 ch.0 のクロックソースは同一になるようにしてください</li> </ul>																				
<p>(正)</p> <p>“OscControl.c”の関数“OscClockSourceInitialize()”および“OscClockSourceFinalize()”にて、システムクロックとT16 ch.0 の設定をします。各関数の処理内容は、以下の通りです。</p> <p style="text-align: center;">表 2.1.1 “OscControl.c”の関数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">関数名</th> <th>処理内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OscClockSourceInitialize()</td> <td>本ライブラリを使用するために、システムクロックおよび T16 ch.0 を適切な速度に設定します。 ※ユーザプログラムの設定を変更します。</td> </tr> <tr> <td>OscClockSourceFinalize()</td> <td>システムクロックおよび T16 ch.0 を、ユーザプログラムの設定に戻します。</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>ご注意:</b>本関数は、本ライブラリ内で使用されます。そのため、必ず本関数のソースコードを確認し、必要に応じて修正してください。</p> <p>本ライブラリを使用するためには、上記関数を使用し、以下の適切な動作速度に設定してください。</p> <p style="text-align: center;">表 2.1.2 システムクロックとT16ch.0 の動作速度</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">機種名</th> <th style="width: 20%;">本ライブラリバージョン</th> <th style="width: 25%;">システムクロック</th> <th style="width: 30%;">T16 ch.0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">S1C17M20/21/22/23 /24/25</td> <td>Ver1.3x 以前</td> <td>OSC3=16MHz、分周比 1/4</td> <td>OSC3=16MHz*<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>Ver1.4x 以降</td> <td>OSC3=16MHz、分周比 1/1</td> <td>OSC3=16MHz*<sup>1</sup></td> </tr> </tbody> </table>				関数名	処理内容	OscClockSourceInitialize()	本ライブラリを使用するために、システムクロックおよび T16 ch.0 を適切な速度に設定します。 ※ユーザプログラムの設定を変更します。	OscClockSourceFinalize()	システムクロックおよび T16 ch.0 を、ユーザプログラムの設定に戻します。	機種名	本ライブラリバージョン	システムクロック	T16 ch.0	S1C17M20/21/22/23 /24/25	Ver1.3x 以前	OSC3=16MHz、分周比 1/4	OSC3=16MHz* <sup>1</sup>	Ver1.4x 以降	OSC3=16MHz、分周比 1/1	OSC3=16MHz* <sup>1</sup>
関数名	処理内容																			
OscClockSourceInitialize()	本ライブラリを使用するために、システムクロックおよび T16 ch.0 を適切な速度に設定します。 ※ユーザプログラムの設定を変更します。																			
OscClockSourceFinalize()	システムクロックおよび T16 ch.0 を、ユーザプログラムの設定に戻します。																			
機種名	本ライブラリバージョン	システムクロック	T16 ch.0																	
S1C17M20/21/22/23 /24/25	Ver1.3x 以前	OSC3=16MHz、分周比 1/4	OSC3=16MHz* <sup>1</sup>																	
	Ver1.4x 以降	OSC3=16MHz、分周比 1/1	OSC3=16MHz* <sup>1</sup>																	

S1C17M30/31/32/34	Ver2.2 以前	OSC3=16MHz、分周比 1/4	OSC3=16MHz* <sup>1</sup>
	Ver2.3 以降	OSC3=16MHz、分周比 1/1	OSC3=16MHz* <sup>1</sup>
S1C17M33	Ver2.2 以前	OSC3=16MHz、分周比 1/4	OSC3=16MHz* <sup>1</sup>
	Ver2.3 以降	OSC3=16MHz、分周比 1/1	OSC3=16MHz* <sup>1</sup>
S1C17W18	全バージョン	OSC3=4MHz、分周比 1/1	OSC3=4MHz* <sup>1</sup>
S1C17W36	全バージョン	OSC3=4MHz、分周比 1/1	OSC3=4MHz* <sup>1</sup>

\*1 T16 ch.0 の分周比設定は本ライブラリ内で行われます。